



目的

- ◎ 学校における教育の質の向上
- ◎ 児童生徒の教育の充実

授業を中心とした質の高い教育活動に専念できる環境の実現

教職員一人一人が自分の働き方を見直すとともに、ワーク・ライフ・バランスのとれた生活を実現し、健康で誇りとやりがいをもって能力を発揮できる環境を整備

重点目標

- ・ 働き方改革への意識・行動の変容
- ・ 教職員の時間外業務時間の縮減

重点取り組み事項  
(令和8年度まで)

時間外業務時間が1月あたり45時間未満の教職員の割合を25%以上引き上げる。(教頭については目標数値50%)

\* 高鍋町立学校管理規則に定める時間外業務時間の「上限時間」1月について45時間、1年について360時間

県内一斉の取組

- 1 リフレッシュデー、リフレッシュウィークの設定
- 2 部活動の活動時間及び休養日の設定
- 3 教頭の長時間業務解消への取組
- 4 家庭・地域等との連携による業務の役割分担

各学校の工夫による独自の取組

- 1 管理職による取組の推進
- 2 学校全体の取組の推進
- 3 教職員一人一人の取組の推進

高鍋町教育委員会の取組

- 1 専門スタッフ等の配置
- 2 校務支援システム等の活用
- 3 学校・家庭・地域の連携協働
- 4 事務職員の学校経営への参画
- 5 提出書類等の削減・統合
- 6 関係機関との連携・協力体制の構築
- 7 勤務時間の客観的把握
- 8 勤務時間外における連絡対応等の体制整備
- 9 部活動の地域移行に向けた環境整備

基本方針・4つの柱

- ◎ 教職員のウェルビーイングの向上と長時間業務解消
- 1 教職員の業務を軽減するための家庭・地域等を含めた役割分担の推進
- 2 教職員が授業を中心とした本来担うべき教育活動に専念できる環境の整備
- 3 教職員一人一人の働き方に対する意識改革の醸成
- 4 管理職のリーダーシップによる働き方の推進

県教育委員会  
との連携

家庭・地域  
との連携

